

大阪・関西万博開催に向けた御意見

御所属 ARTLOGUE 代表取締役 CEO 御名前 鈴木 大輔 様

1. 2025年の大阪・関西万博に何を期待しますか。

(是非すべきこと、また、するべきではないこと、後世に残すべきもの等)

○「ビジョン」

● スイングバイとしての万博

レガシー（遺産）を残すという発想ではなく、未来に向けて加速させるために「スイングバイ」としての万博を目指していただきたい。また、過去から未来だけでなく、外国人→万博→日本各地、日本の文化芸術やナレッジ→万博→世界中、といったようにあらゆるモノゴトが万博を起点に加速度的に広まっていけば理想です。

○「是非すべきこと」

- 人類の半分は女性であり、男女ではニーズもイシューも違うはず。もう少し委員への女性登用を進めるべきだと思います。
- 戦略的に才能ある若者を起用することで一気に世界的に知名度を高める。人材のスイングバイ。
- 「いのち輝く未来社会のデザイン」と言っても、国や地域、宗教などによっても死生観が違うので、特に忌避されがちな死についての議論をするべきではないでしょうか。
- 環境、貧困、紛争、難民についての議論をするべきではないでしょうか。「いのち輝く未来社会のデザイン」が一部の恵まれた人たちだけのものでないことを願います。
- 民間月探査レース「Google Lunar XPRIZE」のように数年かけてSDGsをテーマにした何らかソリューションの開発を競うレースをしてはどうでしょうか。賞金総額も同じように3000万ドルクラス。出資でもいいです。
- 入場者数や広告換算などだけでなく、SROI（社会的投資収益率）＝社会的インパクト評価を導入し、真に意義のあるコンテンツを盛り込んで欲しいです。
- 現状では大阪以外では全く盛り上がりません。全国での機運情勢のためにも注目されるであろうドバイ万博開催中から継続した関西全体、日本全体でのプログラムを行うべきだと思います。
- 万博に合わせて様々なソフト、アプリなどが開発されると思います。また、データも蓄積されるでしょう。それらを万博の終了時に破棄するのではなく、後世に残すためにもオープンソース、オープンデータ化をして欲しいです。力の弱いスタートアップや地方自治体はやりたいことがあっても開発費を捻出出来ずに泣き寝入りすることが多いです。それらがフリーで使えるソースなどがあれば事業の加速か、地方創生にもつながるはずです。
- 建築物や什器、大量に作られるウェアなども〇〇%は再利用可能にするなど、レギュレーションを設けてはどうでしょうか。
- 物理的に来られる人は限られているので、オンラインでも参加出来る仕組みの構築が必要。自動翻訳技術の発展を期待して国際間でのディスカッションなど。

○「するべきではないこと」

- ・ 安っぽいお国自慢
- ・ 物産展的な展示

○「後世に残すべきもの」

- ・ 万博を起点に生まれた様々なモノゴト（技術、制度、法律、文化芸術、概念、等）

2. 大阪・関西万博で見せるべきコンテンツは何でしょうか。

(例：最先端技術の実証、SDGs達成への貢献、ライフサイエンス分野との連携等)

- 文化の媒介者としてクリエイターやアーティストを一定期間滞在させて、各ジャンルで作品を制作してもらうクリエイターズ・イン・レジデンスを提供してはどうでしょうか。漆がジャパニングと名付けられ広まり、フェラン・アドリアがゆずなどを用いたように、海外のクリエイターに日本の資源を利活用してもらってこそ、価値が伝搬されるはずです。
- 万博を契機にこれまでにないクラスの芸術祭を提案したいです。芸術祭（展覧会）、アートフェ

ア、カンファレンス（CIMAM、学会など含む）、関連ビジネスのショーケースなどは基本的に個別でされて開催されていますが、それらをまとめて行うことでアートに関わるステークホルダーが全て一同に会す世界にも例を見ない芸術祭ができるはずです。また、大阪には数多くの近代建築も残っています。単に一過性のお祭りでは終わるのではなく、都市の財産とも言える近代建築やパブリック・アートを活用する芸術祭（例：ミュンスター彫刻プロジェクト）にするべきです。

- インターネットで世界中のことをリアルタイムで知れる時代において、よりリアルなコミュニケーションが重要だと感じています。各ジャンルごとに「アート・ウィーク」「医療ウィーク」「宗教ウィーク」などを設けて、カンファレンスで議論を深める会とともに、他ジャンル間でのカンファレンス（例 TED）も開催、さらにカンファレンス終了後にはなるべく交流会を設けることが重要だと思います。CES ではわずか 4 日間に 1,000 ものトークが開催されます。万博では 10,000 を目標にしてはどうでしょうか。万博を起点に日本版ダボス会議や TED、各ジャンルの世界最大のカンファレンスが生まれるように設計をするべきだと思います。
- カンファレンスの一環でもありますが、各国の課題をお題としたアイデアソン、ハッカソンなどを開催してはどうでしょうか。（ブラジル・デー、イタリア・デーなど）。そこから未来社会に解決出来るソリューションが生まれるかもしれませんし、課題を知ることは理解を深めることにつながるはずです。
- 万博会場を二部構成にして、夜間はクラブや各国のレストラン、また、レジデンスしたシェフたちがディレクションするディナーなどナイトカルチャーを楽しめるコンテンツを用意すべきだと思います。
- 日本では公の事業で富裕層、セレブ向けのサービスがあまりないですが、彼らは目立つ存在故に一般の人とは同じように参加出来ないことが多々あります。会費 10 万円の特別なパーティーや、有識者の特別講演、クルージングなど、富裕層やセレブが安心して参加出来るためのコンテンツを用意すべきだと思います。
- 2025 年は 5G や AR が当たり前の世界になっているはずですが、2035 年くらいを見据えて、6G や自動運転ドローン等、超法規的な実証にチャレンジ出来るような場になればいいと思います。
- 本物の文化財を会場に持ってくるのは難しいですが、現在はクローン文化財のクオリティがとも向上しています。日本の文化財のバリューアップのためにも、会場のあらゆるところでクローン文化財に触れられるようにするべきだと思います。
- 千里万博公園にて AR/VR による 1970 年万博の再現してほしいです。

3. 会場計画及びインフラ整備について、新たなアイデアや御意見をお願いします。

（例：会場のデザイン、水面や緑地の利活用、待ち時間のない万博とするための手法、災害対策、暑さ対策等）

- 地震、災害大国だからこそ東南海地震を想定した防災対策をしっかりとつつ、その防災対策を世界に発信し、その分野でもプレゼンスを高めるべきです。
- 水都大阪を謳っているわりには、海路が脆弱です。万博を期に海路、水路をもっと整備してほしいです。
- パビリオンに入るのに数時間も待つのは機会損失です。基本的に電子チケット、パビリオンの予約制にするべきです。同じ時間には予約が出来ない、数%は当日券発行など対策も必要。
- 1Tbps を超えると言われている 6G が実現するとどのような体験になるかを実験的に採用してほしい。
- 年齢、性別、国籍、好み、家族・一人などに合わせて、AI が会場やコンテンツをレコメンドしてくれるシステムの導入。加えて、同じくレコメンドエンジンにより最適な日本中への旅行を促します。

4. そのほか、御自由に御意見をお願いします。

- 「日本の上方」から「世界の KAMIGATA」へ。
江戸時代には文化芸術は大阪・関西から生まれ、日本中に下っていました。現在では東京一極集中により大阪・関西のプレゼンスは極めて低い状況です。「スイングバイ」としての万博を契機に弊社も掲げている関西アートリージョン構想を実現させ、「日本の上方」から「世界の KAMIGATA」へと昇華させるくらいダイナミックな万博にしていきたいです。